

みなさんこんにちは、いつも白衣の恵子先生です。

先日は「ようこそ 1 年生の会」が開かれ、「学校探検」ということで、2 年生が 1 年生を優しく案内してくれていました。職員室に入るときも、しっかりと大きな声であいさつをして見本を見せたり、「ここはケガをしたときに来るお部屋だよ」と説明したり、とっても立派なお兄さん・お姉さんになった姿が見られました。1 年生のために準備をしたり、練習したりよく頑張りましたね。誰でも初めては怖いもの、そんなときに寄り添ってくれるお兄さん・お姉さんがいるのは、すっごく心強いと感じた昨年の経験が生かされていましたね。学校探検、ありがとうございました。さらに、給食の準備や片付けもスムーズになり、自分たちでやろうとする意欲が伝わってきて、この 1 か月だけでも大きく成長していますね。すごいよ 2 年生!!

すごいと言えば、メジャーリーグ通算 176 本のホームランで日本人最多記録を更新した大谷翔平選手。「不可能を可能にする大谷翔平 120 の思考」という本の中で、こんなことが書かれています。「まずは試してみる。何も生まれなかったらやめて、また元の道から始めればいいのだ。どうしたらもっと遠くへ、もっと速くなるのか、大谷は幼少時から野球についてそれだけを考えてきた。『例えば、打てなくても、どうすれば打てるようになるのかなと考えて、何かを思いついて、じゃあ、やってみようってグラウンドへ行く。その一歩目が楽しいんです。』」と。皆さんどうですか？ちょっと難しいことにあきらめずに取り組んでいますか？その挑戦を楽しんでいますか？世界の翔平は、皆さんくらいの年から「できるかな？どうか？」ということを楽しめる人だったんですね。

そして、さらにこんなことも書かれていました。『その日に起きた良かったこと。悪かったこと。自分が感じて「次はこういうことをやろう」という内容を書き込むようにしています。』とも。これは、8 歳から続いている習慣だ。小 3 直前で野球を始める頃から父・徹さんは野球のノートをつけさせていた。ぼんやりと思った内容は、字で表現すると明確になり、頭に入る。高校時代に“絶対に守る 3 か条”として挙げた「一生懸命声を出すこと」「一生懸命走ること」「一生懸命キャッチボールすること」はすでに小学校時代のページに記されている。野球ノートは進化した。いつかスマホのメモとなり、iPad になった。ノートに清書しながら、プロ入り後もずっと続いている。『もちろん、野球に関することが多いですけど、ほかにも自分が気づいたこと全般を一言二言、箇条書きで。後で“この時はこう思っていたんだ”と読み返すためです。野球に関連した内容だけでなく、読書の中で心に残ったフレーズもメモ。自分に生かせないかと、きっかけ作りにも利用している。『頭が悪いからメモを取らないと忘れてしまうんです。』と冗談めかしたが、この習慣が「考える」という作業に深みを与えている。』と。これって授業の最後に皆さんも書いている振り返りと同じじゃないですか？今日の学びで分かったこと、難しかったこと、自分が感じて「家に帰ったらこういうことをやろう」って書いていますよね。こういった自分の学びを記録したものをスタディーログと言います。このスタディーログを、後々読み返すことで、自分自身を客観的にみられるようになったり、自分がどんなことに興味があって何をしているときに楽しめるのかな？幸せなのかな？って、分析できるようになったり、大谷選手のように自分の人生に生かせるきっかけになるのかもしれないですね。そして、「考える」という作業が深まっていくといいなって思います。

GW 後半、お家の方とお出かけしたり、お友達と遊んだりすることがあると思いますが、安全教室での学びを胸に過ごしてくださいね。そして、自分が感じたことを言葉にすることに、ぜひ挑戦してみてください。『ちょっとだけでも頑張ってみよう!』

それではまた来週、素敵な GW 後半をお過ごしください。See you next week! Have a nice holiday!!